

\\隣のクラスのあの人が、毎朝すれ違うあの人が、舞台俳優に！？//

厚生会館市民交流公演事業 ダンス×ドラマ×ミュージック **「わが星」**上演決定！

2月23日(日)、24日(月・祝) 福知山市厚生会館にて計4回上演



京都府福知山市は、2025年2月23日(日)、24日(月・祝)に、「わが星」という舞台作品を上演します。本企画は、青少年をはじめとした市民に芸術文化の体験機会を提供することで、豊かな感性を育むとともに市民同士の交流を促進し、将来の文化活動の担い手を育成することを目的に、今年度より新たに開始した文化事業です。

~~~~~概要~~~~~

出演者は、経験不問の公募で集まった小学4年生から30代の福知山にゆかりのある12人の若者です。

今年度は、日本初の公立文化事業集団として名高いSPAC(静岡県舞台芸術センター)の事業での演出経験を持つ演出家の佐藤剛史(さとうつよし)さんの指導のもと、演劇界の芥川賞とも呼ばれる岸田國士戯曲賞(きしだくにおぎきよくしょう)受賞作品に挑戦します。

~~~~~わが星とは~~~~~

本作は多くの人々に愛される名作です。初演から一五年以上が経過した現在も、プロ・アマチュア問わず様々な団体によって上演されていますが、京都府北部での上演は福知山市が初めてとなります。また、演劇作品でありながら、作中には多くのダンスとラップが登場し、リズムに乗って軽やかに物語が展開される不思議な舞台作品です。作品内には様々な「例え」が登場しますが、それが示す意味に気づいた瞬間、きっと涙してしまうこと間違いありません！演劇、と聞いたとき「難しそう…」「楽しみ方がよく分からない」とお考えの方も多いと思います。そんな皆さんにこそ是非ご覧いただきたい、新しい演劇です。



~~~~~本企画の流れ~~~~~

- 本企画は、下記のような日程で進行しています。
- 7月中旬 出演者・スタッフ募集開始。
- 8月中旬 出演者・スタッフ募集終了。
- 9月上旬 出演者・スタッフ追加募集・見学受付開始。
- 9月下旬 出演者・スタッフ追加募集・見学受付終了。
- 10月中旬 配役決定。
- 12月中旬 プレ公演開催。



~~~~~注目ポイント~~~~~

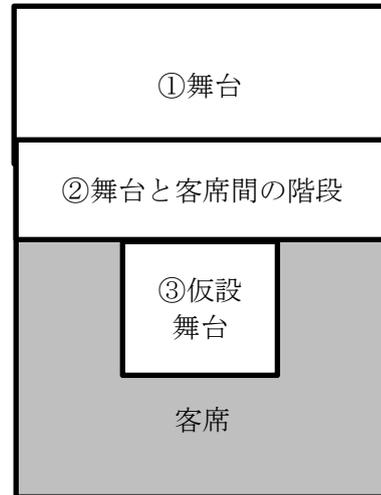
福知山の「わが星」では、観劇をより楽しんでいただくための工夫を沢山ご用意しています。

**特別で贅沢！客席に飛び出す舞台**

お客様が出演者の声、表情、動き、息遣いを体感できるよう、客席の中に仮設舞台を設置します。そして、①舞台②舞台と客席間の階段③仮設舞台の3か所を行き来しながら物語が進みます。

この3つの舞台は、それぞれ“どこか”を表しています。ひとりの登場人物に着目し、その登場人物がいつその場所に立ち、いつその場所を離れるかを観察するのも面白いかもしれません♪

客席は約150席とし、<sup>きしきせき</sup>敷席(椅子が無い席)も用意する予定です。



**小さなお子様と一緒に安心！親子向け公演の設定**

全4公演のうち、2025年2月24日(月・祝)11時開演のA公演は「親子向け公演」としています。親子向け公演ではお子様が泣いてしまっても大丈夫！ミルクやおむつ替えのための途中入退場もお気軽にどうぞ。もちろん、親子に限らずどなたでもご観劇いただけます(作品の内容は通常公演と同じです)。

**比べて面白い、ダブルキャスト制の導入**

一部の役については、A公演、B公演で出演者が異なります。同じ脚本、同じ役でも、演じ手が変わると舞台が変わる面白さを感じていただけます！

(例)主人公・ちー役をメインで演じるのは…

A公演は、ちーと同じ10歳の田中 久留珠(たなか くるみ)さん

B公演は、チアダンスで全国規模の大会に挑戦する16歳の余田 帆香(よでん ほのか)さん

~~~~~プレ公演のお客様の反応~~~~~

本企画は、参加者の半分以上が未経験者で構成されています。そこで、本番までに舞台に慣れる必要があることから、ホールを使った公開練習を「プレ公演」と名付け、12月16日(月)18時よりハピネスふくちやま4階市民ホールにて開催しました。当日は、口コミや市ホームページ等を見て集まってくださった37名のお客様の前で、出演者らがこれまでの練習成果を披露しました。



【お客様からの感想】

初めて舞台を見ましたが、とても楽しかったです。この子は●●で、あの子は●●なのだと分かった瞬間の驚きと面白さがとても良かったし、皆さん息ぴったりで凄かったです。本番も絶対見に行きます。楽しみにしています。ありがとうございました。

※●●はネタバレのため伏字

みなさんお上手ですね！本番頑張ってください  
いちばん小さい子が、お母さんに怒られてシュンとなるときの「はあい」がすごく自然でかわいいです

熱演と脚本のリズムにだんだんと引き込まれていきました。どなたの演技も見応えがありました。

特に「つき」の役の方のセリフの間の取り方、お相手との距離の詰め方がまるで危なげなくて、こちらもリラックスしてお話に没入させていただけたように思います。

これまで皆さんがそれぞれにどれほど熱心に真摯に練習されたのだろうと感じ入りました。本番ではより多くの方をお話の中に引き込む力を発揮されることでしょうか。ありがとうございました。



（詳細）厚生会館市民交流公演事業 ダンス×ドラマ×ミュージック「わが星」

①内容

・演目…わが星(作:柴幸男)

人が生まれてから死ぬまでの約 100 年、星が誕生してから消滅するまでの約 100 億年。

時報を合図に、団地で暮らす一家と星の一生を重ね描いた、柴幸男の代表作。

第 54 回岸田國土戯曲賞受賞作。(出典:ままごと HP)

・演出…佐藤剛史(伽藍博物堂)

’63 年生まれ。愛知県出身。静岡大学理学部卒。劇作家。演出家。演劇企画「伽藍博物堂」主宰。

日本初の公立文化事業集団である SPAC(静岡県舞台芸術センター)の事業をはじめ、計 7 回もの『わが星』の演出経験を持つ。出演者の特徴を最大限生かす多様な演出を得意とする。

②開催日時

|                      |                     |              |
|----------------------|---------------------|--------------|
| 2025 年 2 月 23 日(日)   | ①15 時～(A 公演)        | ②19 時～(B 公演) |
| 2025 年 2 月 24 日(月・祝) | ③11 時～(A 公演/親子向け公演) | ④15 時～(B 公演) |

※上演時間は各 80 分(予定)、開場は開演の 30 分前です。

③会場

福知山市厚生会館(福知山市字中ノ 170 番地の 5 TEL:0773-22-4955)

※近隣の有料駐車場をご利用ください。

※厚生会館前の駐車場は、身体障害者用及び関係者用駐車場となります。

④料金

無料

※ただし入場予約が必要です(締切:2 月 16 日(日)23:59)

入場予約はこちら(<https://logoform.jp/f/14wwN>)から。

※空席がある場合は、予約無しでもご入場いただけます。

空席状況はこちら(<https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/soshiki/7/70306.html>)から。

※PC・スマートフォンからの予約が難しい方は、厚生会館(0773-22-4955)へお電話ください。



⑤定員

各回 150 名(自由席) ※予約状況に応じて増席する可能性があります。

⑥出演者 ※1 月 20 日に一部変更となりました。

| 出演 | 氏名     | 属性  | 出演  | 氏名    | 属性  |
|----|--------|-----|-----|-------|-----|
| A  | 桐村 彩花  | 中学生 | A・B | 足立 篤志 | 高校生 |
| A  | 田中 久留珠 | 小学生 | A・B | 江頭 幸恵 | 社会人 |
| A  | 村上 凜成  | 高校生 | A・B | 尾松 絵理 | 社会人 |
| B  | 兼松 諒   | 高校生 | A・B | 大瀧 周平 | 社会人 |
| B  | 矢持 華虹  | 高校生 | A・B | 原田 翔  | 社会人 |
|    |        |     | A・B | 森田 沙希 | 社会人 |
|    |        |     | A・B | 余田 帆香 | 高校生 |

【本件に関するお問合せ(主催)】

福知山市役所 文化・スポーツ振興課 新文化ホール計画推進係 担当:梅原・和久

TEL:0773-24-7033 FAX:0773-23-6537

E-mail:[shinbun@city.fukuchiyama.lg.jp](mailto:shinbun@city.fukuchiyama.lg.jp)

<https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/soshiki/7/70310.html>